

重層的支援推進事業

R4事業費 3,390千円(主要事業分 3,390千円)

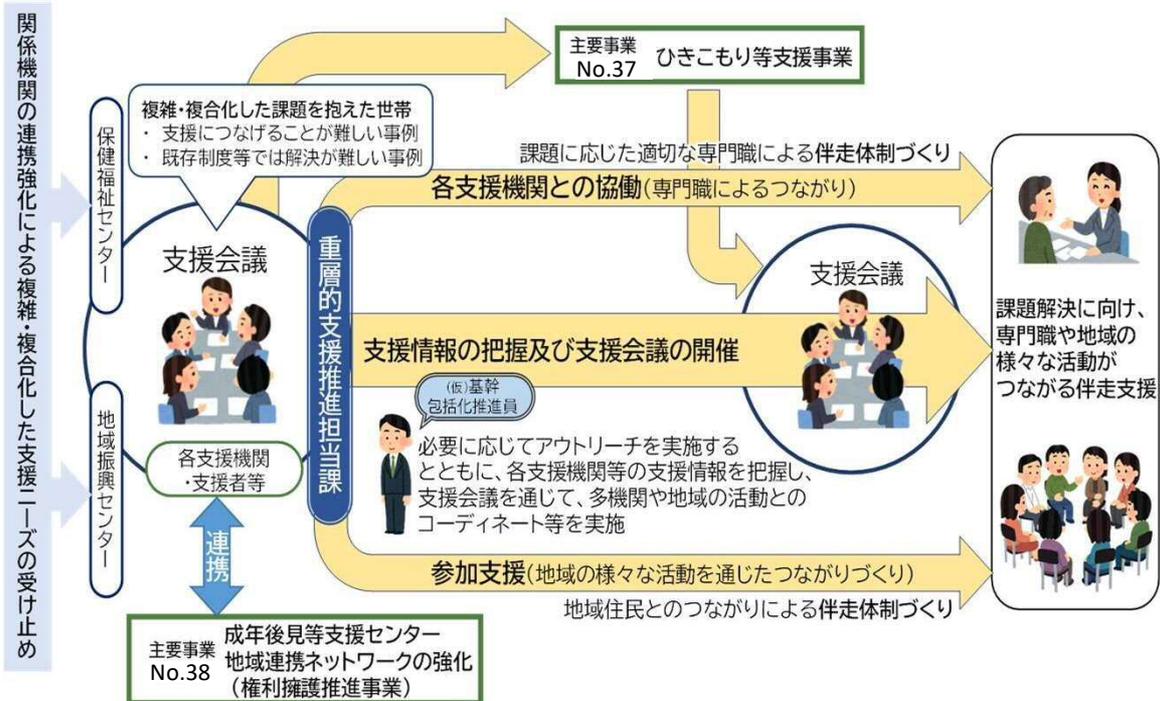
[正規職員3人、非常勤事務補助員1人増員]

所属:健康福祉局
企画管理課
福祉課

事業概要

既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対応するために、支援会議等を通じて様々な支援機関や地域の支援関係者との役割分担等による伴走支援に取り組みとともに、ひきこもり等の対象者へのアウトリーチや、社会とのつながりを作るための参加支援を一体的に取り組む。

事業イメージ



重層的支援推進担当課の役割及び機能

複雑・複合化した課題を抱えた世帯に伴走し、支援全体を俯瞰しながら、様々な支援機関や地域の支援関係者との役割分担等を行い、継続的な支援を実施する。

- 支援機関等の把握する情報の収集・集約
- 支援機関・支援関係者間の協働調整
- 社会資源、制度の情報共有・利用調整
- 支援機関等との連携に資する研修企画等

評価指標・効果額

指標: 支援会議におけるケース (単位: 件) R6目標値: 60
検討数

複雑・複合化した課題を抱えたケースの支援を検討するための会議の充実を図る。

ひきこもり等支援事業

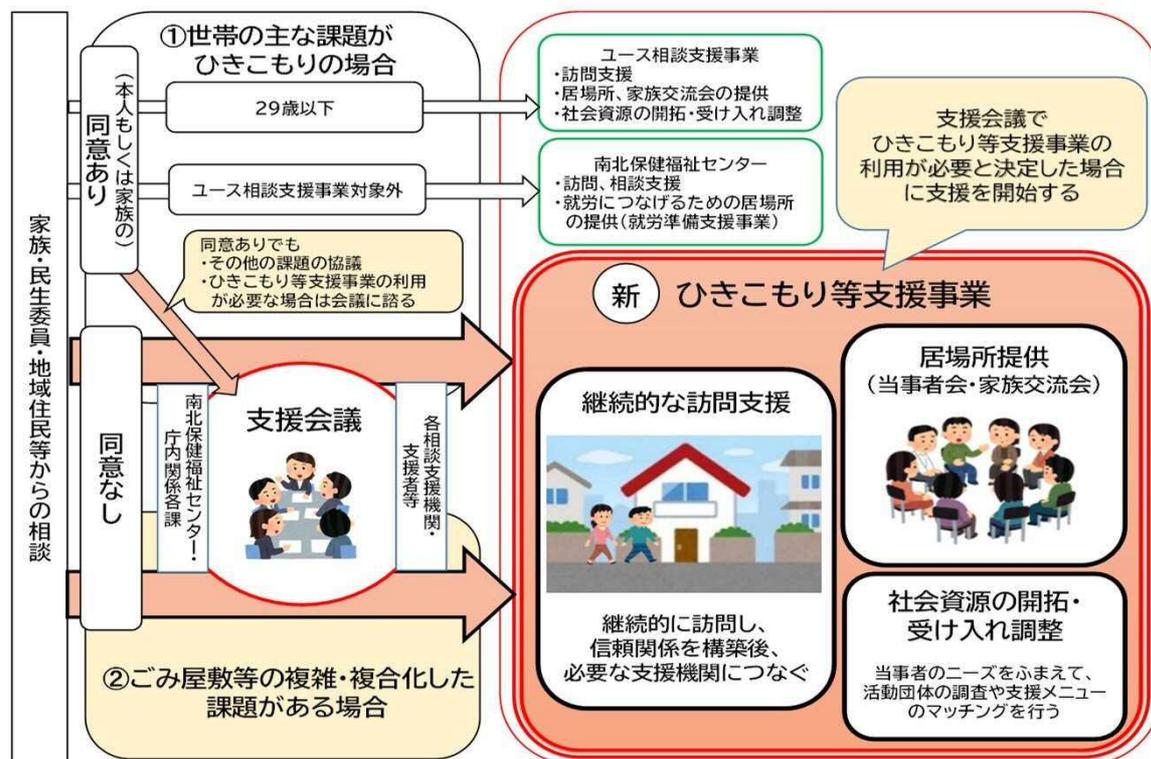
R4事業費 11,320千円(主要事業分 11,320千円)

所属:健康福祉局
北部福祉相談支援課
南部福祉相談支援課

事業概要

ひきこもり等で支援に拒否的であったり、課題に気づいていない当事者に対し、信頼関係を構築するため、継続的な訪問支援、いわゆるアウトリーチ手法を取り入れた支援を行い、必要な支援機関につなぐ。また、当事者が集える居場所・家族交流会を運営し、当事者が参加可能な社会資源の開拓や受け入れ調整に取り組む。

事業イメージ



重層的支援推進事業(主要事業No.36)との関係性

重層的支援推進事業において、ごみ屋敷や多頭飼育崩壊等、地域や支援関係者との調整が必要となる複雑・複合化した課題へのアプローチとして、継続的な訪問支援等が必要であると、支援会議で判断された場合についても、本事業を活用する。

評価指標・効果額

指標：アウトリーチ支援件数 (単位：件) R6目標値：60

ひきこもり等は潜在化しやすく、課題を抱えた当事者や家族の早期発見・早期支援が必要となることから、アウトリーチ支援の充実を図り、その件数増を目指す。

成年後見等支援センター地域連携ネットワークの強化 (権利擁護推進事業)

R4事業費 35,346千円(主要事業分 9,204千円)

所属: 健康福祉局
北部福祉相談支援課
南部福祉相談支援課

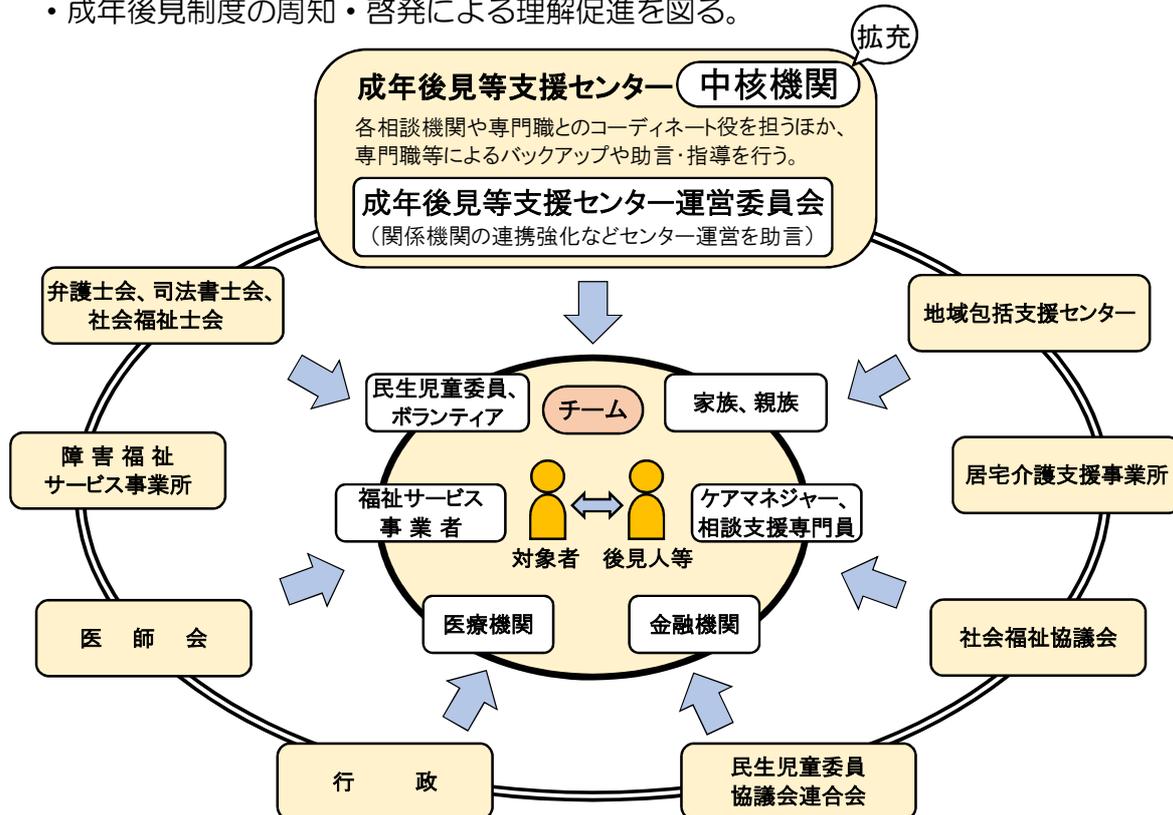
事業概要

成年後見に係る専門的な知見を背景に相談から対応、その後の支援まで一体的に行うとともに市民後見人の養成等を行うことで、高齢者・障害者の権利擁護を図る。

事業イメージ

令和4年度は権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける中核機関として成年後見等支援センターの体制を強化し、次の取組を推進する。

- ・成年後見制度利用までの期間短縮を図る。
- ・支援者の負担軽減等の運用改善に向けて協議、検討を行う。
- ・成年後見制度の周知・啓発による理解促進を図る。



※ 身近な親族、福祉・医療・地域等の関係者と後見人がチームとなって、日常的に対象者の状況等を継続的に把握する。

評価指標・効果額

指標： 市長申立案件における 受任調整の実施割合 (単位： %) R6目標値： 70

市長申立案件を対象に受任調整を実施することにより、成年後見人が裁判所から選任されるまでの期間短縮を図り、対象者を速やかに成年後見制度の利用につなげる。